



種をまく時季

校長 鋸持 利行

2月に入り、今年度も残すところ後1ヶ月余となりました。立春は過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。体調には十分注意し、健康な生活が送れるよう努めましょう。

さて、「時季」という言葉があります。「時季はずれ」と言えば分かると思いますが、時節・季節のことをいい、英語では〈Season: シーズン〉といいます。この世の中で生きているすべてのものが、季節の移り変わりの中で成長し、一生を過ごしていきます。皆さんのような若い人は、1日(あるいは1ヶ月程度)単位で生活しているのではないかと思います。年を重ねるにしたがって、半年、1年と長い単位で暮らすようになります。つまり、それだけ先を見通せるようになり、よりよい生活(人生)設計ができるのです。こうすることができるようになることを『大人になる』というのではないのでしょうか。

例えば、農家の方たちは、いつどんな種をまけばよいかを知っています。まく時を間違えたら成長が遅れたり、実のならない時もあります。当たり前のことかも知れませんが、季節の移り変わりを見つめながら先を読んで行動しているのです。私たちの人生でも同じことが言えるのではないのでしょうか。人間が社会生活を送っていく上で何が必要か、いつ、どんなことをしなければならないのかなど、その種をまく時があると思います。人生での潮時(しおどき: ちょうどよい時期)を誤ると、どんなに努力しても期待通りの成果が上がらないことがあります。このことは大人ならば、自分の失敗経験から知っているはずです。あの有名なシェークスピアの傑作『ジュリアス・シーザー』の中でも、〈人のすることには潮時がある〉とっています。

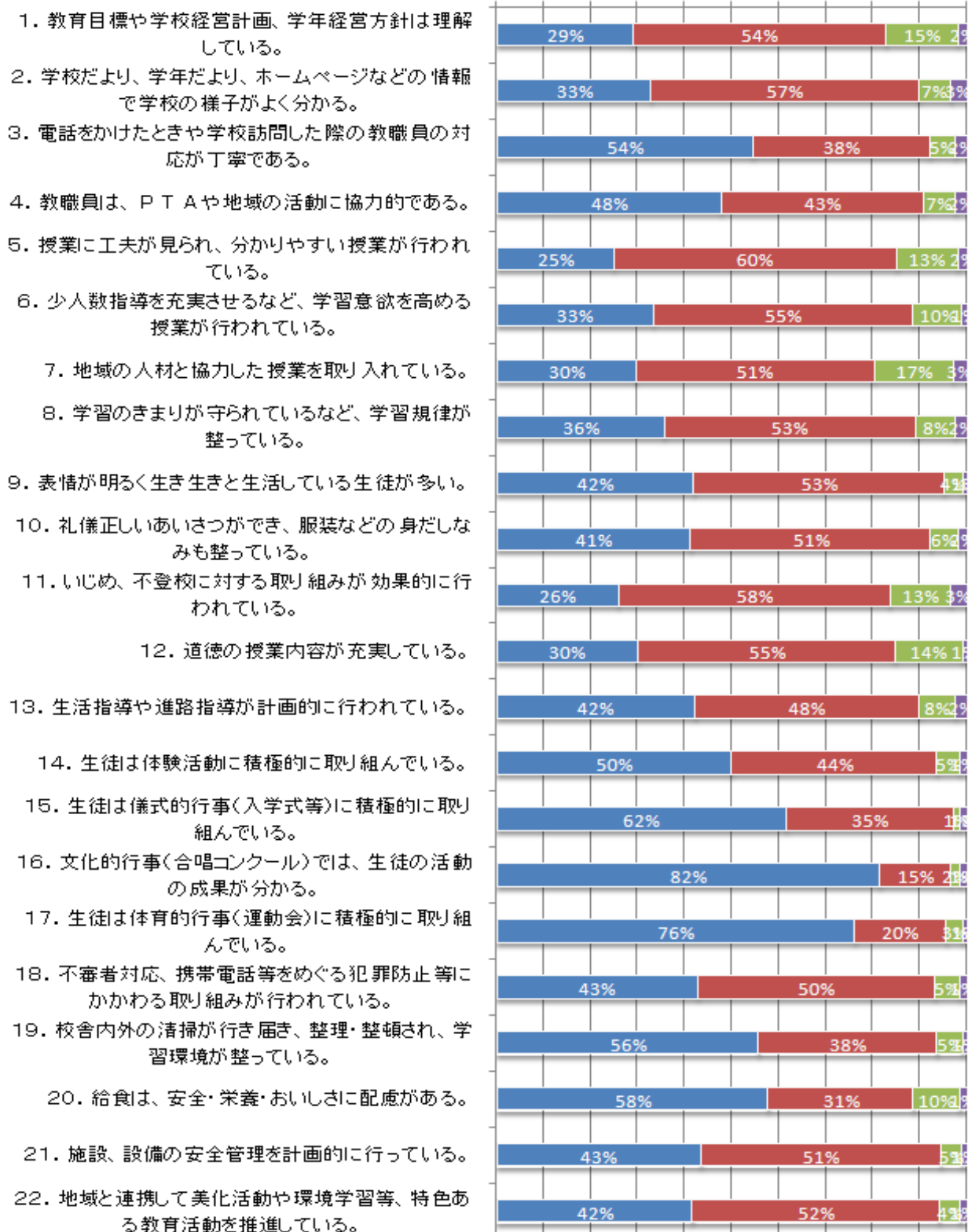
人生の種をまく時はなんと言っても皆さんの年代、つまり10代です。本を読んだり、計算力を身に付けたりという、学校での教科の学習はもちろんのこと、それ以外にも人として学ばなければならない、道徳性(人間としてあるべき態度)や礼儀作法、さらに現在では、国際化や情報化という世の中の流れにふさわしい能力やマナーを身に付けなければなりません。若いうちにそれらを習得しなければ、将来、後悔するようなことになりかねません。

歳月は人を待ってはくれません。人生の種をまく時季はまさに今の皆さん、中学生(高校生)の時代なのです。その時季を大切に過ごしてほしいと思います。

平成27年度学校評価アンケート集計結果 回収率92.5%

■ 達成している ■ 概ね達成している ■ あまり達成していない ■ 達成していない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



学校評価アンケートへのご協力並びに多数のご意見、ありがとうございました。お蔭様で回収率も8.5%上昇し、保護者の方のお考えがより反映される結果となりました。集計結果と保護者の皆様のご意見は、今後の教育活動に生かしてまいります。